

行政事業レビューシート (国土交通省)

予算事業名	水利使用者のコンプライアンス強化を通じた河川管理手法の検討経費		事業開始年度	平成20年度	作成責任者	
担当部局庁	河川局		担当課室	水政課	課長 山崎篤男	
会計区分	一般会計		上位政策	政策目標2 良好な生活環境、自然環境の形成、パリアフリー社会の実現		
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	-		
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	一級河川における電力会社の発電に係る水利使用をめぐり、超過取水、施設の無許可改築など、多数の不適切事案が相次いで判明したことから、河川法令等を遵守して水利使用を行う体制を水利使用者に構築させるとともに、河川管理者としての取水量のチェック体制を見直し、水利使用者の適法・適正な水利使用の確保と不適切事案の防止を図ることを目的とする。					
事業概要 (5行程度以内。別添可)	各用水(平成20年度においては発電用水、平成21年度においては水道用水、鉱工業用水等)の水利使用者を対象に取水・管理実態等についてのヒアリング調査を行い、調査結果をもとに、水利使用者の管理実態や河川管理者の取水量のチェック体制の問題点などを学識者等による検討会で議論を行い、水利使用者及び河川管理者がやるべきことのマニュアルを作成。					
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>水利使用者へのヒアリング調査: 栃木県、千葉県、新潟県、静岡県、山口県、福岡県等、各地域における水利使用者 計18団体 (水道用水:8団体、 鉱工業用水:6団体、 農業用水:4団体)</li> <li>学識経験者による検討会(資料作成等): 4回開催</li> </ul>					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	-	9	8	-	-
	執行額	-	8	6		
	執行率	-	87.8%	72.6%		
	総事業費(執行ベース)	-	-	-		
自己点検	支出先・用途の把握水準・状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>逐次、打合せ及び電話連絡等を行い、ヒアリング調査先の検討、ヒアリングの実施、河川管理者がとるべき対応を検討するための問題抽出等、適正に業務が遂行されているか確認を行った。</li> <li>契約時に、業務の主たる部分に係る再委託は禁止しており、結果、再委託はしていない。</li> </ul>				
	見直しの余地	今後においても調査手法等の改善を通じ、効果的・効率的な事業遂行に努める。				
予算・監視の効率化	<p>【事業廃止】</p> <p>水利使用者への実態調査や学識経験者の検討、マニュアルの作成など、2年間にわたり本事業を進めてきた結果、本事業の内容は概ね終了し、一定の成果が得られたことから、廃止。</p> <p>ただし、各種のマニュアル、指針、資料、手引き案、評価方法などが成果とのことであるが、このような資料がどの程度利用されて、政策目標を達成したかが真の成果ではないか。行政評価では、作成物はアウトプット、作成物の効果をアウトカムと呼称するが、政策評価は操作不可能なアウトカム指標で測定するべきと考える。</p>					
補記	<p>【予算科目】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>051 水資源対策費 <ul style="list-style-type: none"> <li>05-95 水資源確保等の推進に必要な経費 (21年度予算額) (21年度決算見込額)</li> <li>95016-2129-06 諸謝金 0.7百万円 0.3百万円</li> <li>95016-2122-08 職員旅費 0.3百万円 0.2百万円</li> <li>95016-2122-08 委員等旅費 0.5百万円 0.4百万円</li> <li>95016-2123-09 水資源対策調査費 6.5百万円 5.0百万円</li> </ul> </li> </ul>					

国土交通省  
6百万円

業務発注、全体管理、学識  
経験者による検討会運営、  
マニュアル作成等

諸謝金  
0.3百万円

職員旅費  
0.2百万円

委員等旅費  
0.4百万円

【企画競争】

A. (株)三菱総合研究所  
5百万円

ヒアリング調査、河川管理者がとる  
べき対応を検討するための問題抽  
出等

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)  
(単位:百万円)

**費目・用途**  
 (「資金の流れ」  
 においてブロック  
 ごとに最大の  
 金額が支出さ  
 れている者につ  
 いて記載する。  
 用途と費目の  
 双方で実情が  
 分かるように  
 記載)

A. (株)三菱総合研究所			E.		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
調査費	ヒアリング調査、河川管理者がと るべき対応を検討するための問題 抽出等	5			
計		5	計		0
B.			F.		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
計		0	計		0